

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県森林科学館
指定管理者	公益社団法人埼玉県農林公社
評価対象年度	令和4年度
施設所管課	秩父農林振興センター

項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	日常点検をこまめに行い、施設の危険箇所の把握・対応を速やかに行った。これにより、指定管理者の瑕疵を問われるような事故もなく、安全性の確保が図られた。
	法令等の遵守	A	各種法定点検を適切に実施しており、また個人情報の漏えいなども認められなかった。
	平等利用の確保	A	利用日、利用時間ともに守られており、定期点検のために臨時休業する場合も県に協議するなど適切に対応した。県道通行止に伴い臨時休館する場合も県に協議するなど適切な措置をとった。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	森林・林業に関する展示やイベント等を行い、県民が森林及び林業について学習する機会を設け、その理解を深めてもらうよう努めた。令和7年度の全国植樹祭に向けて展示内容の見直しを行い、普及啓発に努めた。
	利用状況	A	県道通行止に伴う臨時休館の影響を鑑み管理目標を見直した結果、施設利用者数の目標は達成された。
	適切な管理の履行	A	日常点検を確実に言い、また修繕を行ったときは定期報告に記載して県に報告するなど、適切に管理していた。
	財産の適切な管理	A	施設の老朽化に伴い修繕する頻度が高くなっているなか、適切に修繕等を行うなどの対応をとった。
利用者サービスの向上	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	役務・物品ともに地元中小企業からの調達に努めた。
	サービス内容の向上	A	意見箱や来園ノートを設置し、来園者の意見を管理運営の改善に役立てた。
	利用者の満足度	A	アンケート調査で「よい」と回答した人の割合は、施設利用者100%、イベント参加者98%であった。
	総合評価	A	県道通行止に伴い臨時休館を余儀なくされたが、適宜見直しを行い日常の維持管理や点検業務など適正な管理を行った。

特筆事項	特に評価すべき点	県道通行止めに伴って中止となったイベントの代替として、出張イベントを各地で開催することで利用者サービスの向上に努めた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	遊歩道の維持管理を適正に行い、利便性と安全性の向上に努めることが望まれる。